序にかえて

平成11年度は当研究所にとって出来事の多い年でありました。

まず特記すべきことは、当研究所が平成11年で創立50周年を迎えたことであります。昭和24年に県条例に基づき「福岡県衛生研究所」が創設されて当研究所はその活動を開始し、その後の我が国の発展に伴う社会ニーズの変化に対応して、「福岡県衛生公害センター」、「福岡県保健環境研究所」と改称・改組を行って今日に至っております。平成11年度も押し迫った平成12年2月18日に、県関係者、外部関係者、当研究所OB各位、その他の方々のご列席を得て、現研究所職員と共に記念祝賀会を開催いたしました。本年度报告の後半部に“50周年記念”としての特集を組んでおります。

次に、当研究所は1年間の準備をもって環境マネジメントシステム“ISO14001”を構築し、2月に予備審査、3月に本審査に無事合格し、認証を取得しました。準備期間が短期間で、その構築は困難を極めました。事務局の献身的な努力と、職員全員の理解と協力、この難関を突破することができました。このシステムの構築中には、エネルギー削減や廃棄物の減量化はもちろん、日常業務における薬品の登録・管理、書類の整理・整頓など、日頃気にかかりながらも完遂できなかった懸案事項がかなり効果的に処理できたというような、思わぬ副産物が得られました。また、当研究所の任務である環境保全に関する研究の促進、および環境教育の推進も目標に掲げております。ISO14001は“認証”で終わりではなく、1年単位の前進的、継続的改善が要求されています。この認証取得を機に、当研究所の使命の一つである環境保全に率先して努力する覚悟であります。

また、福岡県が平成13年度から立ち上げる「リサイクル総合研究センター」(仮称)の準備活動として、環境部リサイクル推進室との打ち合わせ協議、協力体制作りが進められました。同センターの設立は21世紀においてますます重要性を増す循環型社会の構築に寄与する研究促進が主目的であります。当研究所の実践的研究機能の強化という視点でもとらえられており、研究職員を同センターへ一定期間派遣してセンターの活動に科学的立場から貢献することになっております。

時代は驚くほど急速に変化しており、それに伴う社会ニーズの変化も急激なものがあります。私ども所員は、当研究所がこれまで歩いてきた50年間の足跡の延長線上をそのまま歩くことは許されず、この歴史と実績を基礎に、21世紀の新しい社会ニーズに対応できる研究所の建設に今や全力を傾注すべき使命を担っていると考えております。この意識と意志をもって、新しい目標へ向かっての第一歩を踏み出す覚悟であります。

新しい研究所へ向かっての私どもの努力に対して、関係各位のますますのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げる次第です。

平成12年12月

福岡県保健環境研究所長 加藤 元博

保健環境研究所の沿革

昭和23年	地方衛生研究所設置要綱通達
昭和24年	福岡県衛生研究所設置条例により、福岡県衛生研究所が発足
昭和34年	開所10周年記念式典を開催
昭和44年	公害業務の急増により、公害関係職員を増員
昭和46年	衛生公害センター建設の基本構想を策定
昭和48年 9月	太宰府市向佐野39に庁舎を新築移転
昭和48年 9月	衛生公害型研究機関として福岡県衛生公害センターが発足
昭和51年 2月	第1回九州衛生公害技術協議会を本所で開催
昭和62年 1月	衛生公害センターニュースを発刊
平成 2年 3月	高度安全実験施設を設置
平成 2年 9月	第42回保健文化賞を受賞
平成 4年 4月	保健環境研究所に改称、組織を 3部12課に改編
平成 4年 6月	第19回環境賞（優良賞）を受賞
平成 5年10月	第44回地方衛生研究所全国協議会総会を開催
平成 6年 3月	第1回保健環境研究所研究成果発表会を福岡市で開催
平成12年 2月	創立50周年記念式典を開催